



# 雨天の外出のリハビリにもなりました!

—大祭り—

# CHINATSURIの現場から

11月11日(日) おかやまファーマーズマーケット サウスビレッジにて、創心會主催「大祭り」が開催され、雨天の中、沢山の方が来場されました。ご利用者様も多く来場され、作品や講演に見入る方、自慢の歌声を披露して下さる方、旅リハから参加して下さった方と、主催者と来場者が一体になれた熱い1日でした。

## 必ず「できる」と自分を信じて。

艶やかな赤いチャイナドレスで、情感豊かに川中美幸の「花ぼうろ」を歌い上げてくださった大川さん。その歌声からは想像もつきませんが、大川さんの右側の声帯は動きません。大川さんが創心會大祭り「のど自慢」に参加を決めたきっかけは、100回以上に及ぶテープのヒアリングを通して、声が出るようになった自らの実体験をもとに、声の出ない人にも可能性があることを伝えたいという想いからでした。

大祭り出場後は、新曲を一日一曲覚えて歌えるようになったとのことで、モチベーションもさらにアップされている様子。「カラオケ歴4か月ですが楽しいです。人生が明るくなりました。繰り返しメロディーを聞くことにより、高音・低音の声が出るようになりますので、声の出ない方、音痴の方も諦めずテープを聞いてください。」そう自信をもって話される大川さんから、自分を信じる事の大切さを学ばせて頂きました。



創心會訪問看護ステーション  
訪問リハビリ週2回利用  
大川 君子さん

## 笑顔を引き出す作品づくり

山形さんは、創心會大祭り「げんき祭」に出品して下さったご利用者様のお一人です。白磁器を転写紙で彩り、オリジナルテーブルウェアをつくるポーセラーツの制作をされており、販売や教室も開かれている程の腕前です。そんな山形さんも発病後、制作を再開した当初は作品を捨ててしまったりしていたそう。「左手だけで作るのが難しかった。」「作品はお金のためでなく、皆に喜んでもらいたいから。」と笑顔で話す山形さん。その温かいお人柄は、作風からも感じられます。同じ障がいをもつ方に向けて「自分が頑張っていけば何とかなる」と力強く語って下さいました。



▲ 山形さん作ポーセラーツ

創心會リハビリ倶楽部 茶屋町  
元気デザインユニット週2回利用  
山形 恵美子さん

## iPadから広がる可能性の発見

創心會大祭り iPad講師を務められた藤原健志さん。講演会ではiPadを自在に操作し、姪御さんとの楽しいFacetimeのやりとりで会場を沸かせて下さいました。

福岡に住む妹さんの勧めでiPadを購入し、同時期に創心會グループ会社「ハートスイッチ」主催のiPad教室の受講を開始。もっと画期的にiPadを活用したいと熱心に受講され、全8回の受講のみで講演会の講師まで務められました。もともとパソコンがお得意なこともあり、メールや動画撮影のみならず、Facetimeで県外の親族の方とテレビ電話を楽しまれるなど、活用を広げていらっしゃる様子。また、藤原さんは就業もされており、今日までに特許を2つ取得(特許権者:中国電力 発明者:藤原さん)、職場でも大活躍! 今後もその数を増やしたいと意欲を燃やしていらっしゃいます。

「先日見ていたテレビで、自分より重度の障がいを持った方がiPadを自在に使い、社会・人と繋がっていました。その姿に、iPadのもつ更なる可能性を見つけた気がしました。」と語る藤原さん。自身の「できる」に、まだまだ挑戦は続きます。



創心會元気デザイン倶楽部 笹沖  
週2回利用  
藤原 健志さん



# iPadを使用したサービス開始!

創心會のグループ会社であるハートスイッチでは、今年6月よりご利用者の社会参加支援事業の一環として「脳トレiPad教室」を開始しました。同時に、訪問看護ステーション、デイサービス、グループホームでもiPadを組み込んだサービスの提供を始めています。訪問リハビリチームでは運動イメージ法を用いた訓練を行う際、一部のご利用者様に対し、iPadを使用して動画によるフィードバックを行っています。ご利用者様に、客観的にご自分の動作を確認して頂くことで、動作の質の向上が見られました。iPadを組み込んだサービスで得られた効果は続々と報告されており、ご利用者様の可能性を引き出すツールのひとつとして活用を進めています。

使用例 1

## 動画録画機能の使用

- 運動機能回復  
(屋外歩行時の姿勢・動作の確認 iPad画像を見てフィードバック)

使用例 2

## 発達障がい児向けアプリの使用

- 五感刺激
- 音楽、リズムから能動的動作を引き出す

使用例 3

## インターネットの使用

- facebookを通じてのピアグループの形成
- 映像や音楽で余暇の充実



# 感染対策は「手洗いに始まり、手洗いに終わる。」

## 【感染対策】

感染症に対する対策の柱

- ①感染源の排除 ②感染経路の遮断 ③宿主(人)の抵抗力の向上

## 【高齢者介護施設において注意すべき感染症】

- ①入所者、職員に感染が起こり媒介者となり得る  
インフルエンザ・結核・ノロウイルス・0157・ノルウェー疥癬など
- ②感染抵抗性の減弱した人に発生  
MRSA・緑膿菌感染症など
- ③血液、体液を介して感染  
肝炎(B型・C型)・AIDSなど

## 【感染経路の遮断】

- ①感染源(病原体)を持ち込まない
- ②感染源(病原体)を拡げない
- ③感染源(病原体)を持ちださない

施設の外部から  
感染源を持ち  
込まない事が重要!

11月20日(火)、創心會訪問看護ステーション定期勉強会が開かれました。多数の参加者とともに、これからのシーズン特に気をつけなければならない「感染症対策」について、意識の共有が図られました。

## 基本の手洗い



水道の栓を止めるときは、手首か肘で止める。

『厚生労働省』より「高齢者介護施設における感染対策マニュアル」を引用

## 障がいのある方の“働きたい”を支援するために NPO法人未来創造舎和一久 ど根性ファーム



NPO法人未来創造舎和一久と合同会社ど根性ファームは、障がいを持たれた方の“働きたい”を支援するために、一丸となって基盤づくりを進めています。

現在、創心會でのリハビリを卒業され、和一久で働かれている方が4名いらっしゃいます。今後、もっと作業バリエーションを増やし、創心會の利用者様のみならず、働きたいと意欲をお持ちの障がい者の方の受け入れができるよう、和一久では引き続き雇用を進め、ど根性では来年の春から畑で作業ができるよう計画を進めています!

## — お知らせ —

NPO 法人未来想造舎和一久が運営する cafe OYATSU (おかもまファーマーズマーケット サウスビレッジ内) は大祭りをもちまして無期限休業いたしました。



ご愛顧をいただきましたことに、心から感謝いたします。ありがとうございました。